

平成28年度第3回北九州市立図書館協議会 会議録

1 会議名

平成28年度第3回北九州市立図書館協議会

2 議題

(1) 平成27年度の図書館事業結果報告(年報)

(2) その他

- 「これからの図書館サービスのあり方について」(答申)冊子配布
- 子ども図書館の整備について
- 小倉南図書館について

3 開催日時

平成28年9月1日(木) 午後1時30分～午後2時30分

4 開催場所

北九州市立中央図書館2階 第3会議室

5 出席者氏名

(1) 委員(会長他10名、欠席委員5名)

北九州市立大学図書館長	松尾 太加志
北九州市学校図書館協議会副会長	瀬藤 早苗
北九州市学校図書館協議会会長	江口 恵子
九州国際大学図書館長	島浦 一博
福岡県公立高等学校長協会北九州地区会長	固谷 寛
公募委員	白石 裕子
公募委員	谷之口 博美
北九州市社会教育委員	宮本 和代
北九州市婦人団体協議会理事	阿部 芳美
北九州児童文化連盟委員	柴原 佳代子
北九州青年会議所委員	末松 美緒

(2) 事務局(中央図書館長他8名)

中央図書館館長	石神 勉
中央図書館庶務課長	酒井 国広
中央図書館奉仕課長	埴谷 章子

中央図書館庶務課庶務係長	岩松 栄子
中央図書館奉仕課奉仕係長	東 豊
中央図書館視聴覚センター館長	三栗谷 進
教育委員会企画調整課長	用田 和彦
教育委員会企画調整課主幹（子ども図書館担当）	古林 節子
教育委員会企画調整課子ども図書館担当係長	古郷 浩一

6 傍聴者

なし

7 会議次第

議事（報告、質疑応答）

8 会議経過（発言内容要旨）

（１）平成２７年度の図書館事業結果報告（年報）

資料１「北九州市の図書館（年報）平成２８年」に基づき、事務局から説明。

（委員）

年々、利用者数、貸出冊数が増加し、とても良い方向に向かっていると思いますが、他の政令指定都市と比べた場合の北九州市の登録者数の割合や貸出冊数の増加について、お教えてください。

（事務局）

登録率が最も高い都市はさいたま市で、対人口比 56.5%です。北九州市は 20 政令都市中第 5 位で、対人口比 32.2%です。近隣の例では、福岡市が 25.9%、熊本市が 29.2%となっています。

貸出者の率について同様に対人口比でご案内しますと、さいたま市、静岡市が非常に多く、さいたま市が 223%、静岡市が 196%です。北九州市は 20 政令都市中第 18 位で 105.1%、政令都市の平均は 137.9%となっています。登録率、貸出者数とも、各図書館の配置や蔵書状況が大きく影響していると思われます。

人口一人当たりの貸出冊数は、さいたま市が第 1 位で 7.89 冊、第 2 位の静岡市が 6.22 冊です。北九州市は 20 政令都市中第 15 位で 4.02 冊、政令都市の平均は 4.64 冊です。参考までに九州の政令都市について申し上げますと、福岡市は 2.72 冊で第 20 位、熊本市は 2.84 冊で第 19 位となっています。

(2) その他

○「これからの図書館サービスのあり方について」(答申)

資料2「これからの図書館サービスのあり方について」(答申)について、冊子を作成したため、委員に配布。

○子ども図書館の整備について

資料3「子ども図書館プラン整理表」等に基づき、事務局より説明。

(委員)

図面上に閉架書庫はありますが、開架書庫はどうなっているのでしょうか。

(事務局)

実際に本棚をどう配置するかについては、まだ十分検討されていませんが、現時点では、開架に30,000冊、閉架に60,000冊と考えています。場所としては、幼児の閲覧室に10,000冊、小学生の閲覧室に10,000冊、中高生の閲覧室に10,000冊という配分で考えています。

(委員)

幼稚園児や小中学生の場合、大人と違い、本棚の高さが低くなると思います。そうなった場合、大人の基準で考えた蔵書数が収納できないのではないかと思います。この広さで30,000冊や60,000冊の蔵書がきちんと入って、子どもたちがぎゅうぎゅうにならないスペースが確保できるのでしょうか。

(事務局)

具体的にどのように書棚を配置し、その中にどれぐらいの本が入るかということについては、現在、この中央図書館を設計した設計事務所に具体案の作成を依頼中ですので、確認がとれた段階で図書館協議会に報告する予定です。

(会長)

閉架書庫の利用方法についてですが、子どもたちは閉架書庫に入っている本をどのようにして調べることができ、また、どこに行けば取り出してもらえるのですか。

(事務局)

現状は、図書館情報システムというものがあり、そのシステム上で全ての図書の資料が検索可能になっていますので、その本が開架か閉架かもわかります。閉架書庫には、図書館職員しか入ることが出来ませんので、利用者は図書館職員に依頼して、閉架書庫から取り出してもらうこととなります。しかし、インターネットで予約をすれば、自分で受け取り場所を決めることが出来ますので、閉架、開架に関わらず、予約本を自分の都合の良い日に希望の図書館で受け取ることが出来ます。子ども図書館についてもインターネットを利用すれば、同じ形で本を提供することが出来ると考えています。

(会長)

子ども図書館にも検索可能なパソコンを配置する予定ですか。

(事務局)

配置する予定です。

(会長)

現況の配置がどう変わるか。例えば、この会議室が多目的室になると、中央図書館の会議機能はどのようになるのか教えていただけますか。また、前回の会議で飲食コーナーは残すという話でしたが、現在の飲食コーナーの部屋が児童文学室になると、飲食コーナーはどうなるのでしょうか。現況から無くなる機能と引き続き残る機能について教えてください。

(事務局)

飲食コーナーについては、10月にカフェテリアがオープンした後も残しますが、子ども図書館開館後は飲食コーナーをどのような形にするかは、現在、検討中です。

(会長)

例えば、現在、この会議室で図書館協議会を開催していますが、子ども図書館開館後の図書館協議会の開催場所はどこになるのでしょうか。

(事務局)

以前、図書館協議会の開催場所として利用していた「特別研究室」という広い部屋がありますので、そういうところを利用する等、現状の他の会議室を効率的に利用していきたいと思います。

また、この会議室で引き続き図書館協議会を開催することも出来ます。

(委員)

現在の飲食コーナーの部屋は児童文学室になるようですが、別の場所に設けると解釈してよろしいですか。

(事務局)

どこにするかは、まだ決まっていますが、どこかにそういう場所を設けたいと考えています。

(委員)

わかりました。それから、今後のことですが、子ども図書館は単に本の貸し借りや閲覧、調べものをする機能だけにせず、人材育成等、センター的な機能についても考えていただきたいと思います。

(事務局)

子ども図書館には重要な機能がいくつかありますが、まさに先程言われたことが「子ども読書プラン」に書かれています。このため、地下1階の事務室を単なる事務室とせず、支援センターとすることを考えています。大事な視点ですので、重要課題として取り組んでいきます。

(館長)

子ども図書館は、北九州市内の全図書館の子ども読書推進のセンター機能をもつということをご理解いただきたいと思います。

(委員)

学校図書館と市立図書館を繋ぐ人を配置していただけるのですか。

(事務局)

職員の配置については、これからですが、子ども図書館における重要な機能として学校支援を挙げているので、必ず取り組まねばならない重要な課題として考えています。

(委員)

とても期待しています。よろしく申し上げます。

○ 小倉南図書館について

資料4「小倉南図書館における指定管理者の募集について」に基づき、事務局より説明。

(会長)

ほかにご意見等はないようですので、本日の協議会はこれで終了いたします。